



豪雨災害への対応

いちのみや

あそし

一の宮地域農地・水・環境保全組織（熊本県阿蘇市）

- 本地域では、平成19年度から9つの活動組織において農地・水・環境保全向上対策に取り組み始め、平成24年度からは農地・水・環境保全組織（現制度における広域活動組織に相当）となり、取り組みを実施。
- 平成24年7月11日から14日にかけて、九州北部を中心に発生した集中豪雨（九州北部豪雨）により、農地や水路への土砂の流入や揚水機場の冠水、水路堰の破損等甚大な被害を受けたが、活動組織の対応により、速やかに水路の土砂上げ等の復旧作業を実施することができた。このことにより、再度の降雨があつた際も土砂流入等の被害が防止され、用水の確保が図られた。

【地区概要】

- ・取組面積 1,157ha
（田 1,082ha、畑 75ha）
- ・資源量
開水路222.5km、
パイプライン26.2km、農道112.7km
- ・主な構成員
農業者、自治会、営農組合、
その他11団体
- ・交付金 約103百万円（H29）
〔 農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化） 〕

被災概要

○九州北部豪雨の概要

・熊本県阿蘇乙姫における降水量

1時間降水量 108.0mm

24時間降水量 507.5mm

※共に観測史上1位（平成24年度時点）

期間総雨量 816.5mm

※「これまでに観測したことのないような大雨」と表現され、福岡県、熊本県、大分県では河川の氾濫や土砂崩れ等で甚大な被害を受けた。（平成24年7月31日激甚災害指定）

○活動組織における農地の被害

農地への土砂流入 約400ha

揚水機場の冠水 28機場

転倒堰破損 4箇所

その他、用・排水路への土砂の堆積

※経費が13万円以上の施設の復旧については、災害復旧事業等に対応することとし、主に水路や農道の土砂撤去作業を本事業により実施

被災状況



水路への土砂流出

農地への土砂流出

復旧作業の状況



水路の泥上げ

復旧後の状況

